

日本語と中国語の接続表現 条件を表す『ば』

小川 泰生

0. はじめに

中国語の特色のひとつとして、関連詞を用いない接続表現があげられ、日本語の特色のひとつとして、条件表現が豊かなことがあげられる。これまで、「日本語と中国語の接続表現」(『藤原尚教授広島大学退官記念中国語学中国文学論集』1997年)で、日本語と中国語の接続表現を、「日本語と中国語の接続表現—仮定条件を表す『なら』」(『岡村貞雄博士退休記念中国学論集』1999年)で仮定条件を表す「なら」を、「日本語と中国語の接続表現—条件を表す『たら』—」(『中国学研究論集』第8号 2001年12月)で条件表現の「たら」をとりあげたが、本稿では条件表現の「ば」をとりあげて、それがどう中国語訳されているのかを見ていきたい。佐田さる容

料は、川端康成著『雪国』、侍桁译《雪国》、叶渭渠译《雪国》、尚永清译《雪国》、高慧勤译《雪国》、老舍著《骆驼祥子》。立間祥介訳『駱駝の祥子』、である。

「ば」の用法については、益岡隆志他(2002)で、1. 時間を超えて成り立つ一般的な因果関係を表す用法、2. 特定の時空間に実現する個別的事態を表す用法、2-1. 前件が実現が見込まれる事態を表す用法、2-2 前件が仮定的事態を表す用法、2-3. 反事実的条件の用法、3. 事実的用法に分けている。¹⁾本稿では、この分類に従って見ていくこととする。

1. 時間を超えて成り立つ一般的な因果関係を表す用法

この用法は益岡(2000)(2002)によると、物事の道理を表すものであり、そのために、過去のテンスを表すことはなく、また、後件のモダ

リテイは真偽判断を表すものに限られる。²⁾

『雪国』で「ば」がどう訳されているのかを見てみよう。

1. 「箆笥のなかを見れば、その女の性質が分るって言うよ。」(雪54)

3. “有人说, 只要看看衣柜里的东西, 就晓得这个女子的性格了。”(雪②69)

4. “人们常说, 打开柜子一看就能知道那个女人的性格呀。”(雪③212)

5. “一般常说, 只要看一看衣柜里的东西, 就可以知道女人的脾行如何了。”(雪④42)

6. “人家说, 只须看看衣柜, 就可以知道那个女人的性格。”(雪⑤53)

2, 4は“一～就”, 3, 5は“只要～就”, 6は“只～就”が用いられている。

7. 「ちょっと悪い評判が立てば、狭い土地はおしまいね。」(雪108)

8. “只要有些坏名声, 在这个小地方上就算完了。”(雪①84)

9. “在这种小地方, 一有点坏名声, 可就完了。”(雪②109)

10. “在这狭小的地方, 一有人说长论短就糟糕了。”(雪③252)

11. “要是名声一有不好, 在这种小地方就算完了。”(雪④84)

14. 自分ひとり歯をくいしばってがんばりさえすれば、なにごとだってできないということはないのだ。(祥①15)

13は“只要～就”が用いられている。「～さえすれば」は“只要～就”と対応する。

15. ～, 从北辛庄, 往北, 过魏家村; 往北, 过南河滩; 再往北, 到红山头, 杰王府; 静宜园了! (祥17)

16. 北辛庄から北へ魏家村, 南河灘を通過してさらに北上すれば紅山頭, 傑王府, それから静宜園だ。(祥①31)

15は関連詞は何も使っておらず, 意合法である。「さらに北上すると」とも言えることからわかるように, 仮定の意味がそれほど強くなく, 仮定条件を表す関連詞は必要ないのである。

17. 拉散座, 座儿一会儿一改; (祥35)

18. ～, 流しをやれば, 一回ごとに客はかわる。(祥①61)

19. ～, 只要自己好好的干, 就必定成功。(祥①52)

20. 一生懸命働きさえすれば, 成功疑いないのだ。(祥①92)

19は14と同じく, 「～さえすれば」は“只要～就”と対応する。

以上, 時間を超えて成り立つ一般的な因果関係を表す用法を見てきたが, “如果～就”, “要是～就”等の関連詞は用いられない。“只要～就”, “一～就”を用いたり, 関連詞なしの意合法で訳されている。

徐一平(2001)でも, 時間を超えて成り立つ一般的な因果関係を表す用法では, “要是～就”等の仮定条件を表す関連詞を用いおらず, “只要～就” “一～就”を用いたり, 関連詞なしの意合法で訳されている。³¹⁾

24は“～了～就～”が用いられている。

25. 信じていれば夢はかなうものだ。(619)

26. 只要信，美梦就能成真。

26は“只要～就～”を用いている。

27. 誰でもほめられればうれしい。(619)

28. 无论是谁，受到表扬都高兴。

28は関連詞は何も使っておらず，意合法である。

時間を超えて成り立つ一般的な因果関係を表す「ば」は，“只要～就～”，
“～就～”を用いたり 関連詞なしの意合法で記される

2. 特定の時空間に実現する個別的事態を表す用法

2-1 前件が実現が見込まれる事態を表す用法

前件が実現が見込まれる事態を表す用法とは，益岡（2002）によると，前件はこれから先の時点で実現が見込まれていることを表し，後件では，そのような見込みのもとに，その事態が実現した場合のことが表されているもののことであり，前件，後件ともに未然の事態を表しており，非現実の事態の表現である。⁴¹

29. やがて年の暮から正月になれば，あの道が吹雪で見えなくなる。
(雪40)

30. 转眼就要从年底转到正月，那条道路将被暴风雪隐没。(雪①30)

31. 女子从山上客栈的窗口俯视过黎明前的坡道。过些时候，从年底到
正月这段日子 这条路将被暴风雪隐没 (雪②52)

～就～”，33は“就”を用いている。

次に，《骆驼祥子》はどうなっているのかを見てみよう。

35. 身上的伤,不久就会好的。(祥16)

36. 痣だっせばばらくすれば消えてしまう。(祥①29)

35は“就”が用いられている。

37. 再过二三年,我也得跟您一样!(祥87)

38. もう二,三年もすれば,こちらともあんとおんなじようになるの
さ。(祥①156)

37は何も関連詞は用いられておらず,意合法である。

徐一平(2000)では,この用法について触れていない。

小川(2001)で「前件が実現が見込まれる事態を表す「たら」は 仮定

条件を表す関連詞を用いないことを指摘したが、⁵⁾「ば」についても、前件

が実現見込みの事態を表す「たら」は 仮定条件を表す関連詞である。

いず“就”が用いられたり,意合法で訳されたりする。

④16)

44. “如果^{●●}這樣，下次我就是帶家人同來時，也能跟你儘情地暢遊了”（雪

⑤18)

40, 44では“如果”，41では“要是”，42では“～的话”，43では“～的话～便～”が用いられている。

45. ～，ただ，うちへことわずに泊れば芸者の責任で，どうなろうと
かま^{●●}つてはくれないが。うちへことわ^{●●}つとけば抱え^{●●}キの責任で。ど

こまでも後^{●●}を見てくれる，（雪22）～

46. 只是如果^{●●}没和养家谈好就留在外面，那是妓艺的责任，以后有什么事，养家一概不管，可是如果^{●●}预先谈清楚，那就是养家的责任，后事全部由养家照料，只有这一点是不同的。（雪①15）

47. 只是预先没向主家打招呼就外宿，得由艺妓本人负责。后果如何，主家可就不管了。但是，如果^{●●}事先向主家关照过，那就是主家的责任，他得管你一辈子。（雪②44）

48. 不过，要是^{●●}跟家里不打招呼就外宿的话，责任要自己负，出了事家里不管。要是^{●●}打了招呼，那就是老板的责任，他负责到底。（雪③188）

49. 艺妓倘若^{●●}不告诉东家，擅自^{●●}在外面留宿，出了事自己担责任，东家一概不管；要是^{●●}事先关照过的，就由东家负责，承担一切后果。（雪④22）

50. ～；但若^{●●}不事前请示業主就外宿，其後果得由藝妓自己負責，業主便什麼都不管了；如果^{●●}事先打過招呼的話，則是業主的責任，他須承擔所有後果。（雪⑤19）

46はともに“如果”が，47は一つ目の「ば」は意合法で何も関連詞は用いられておらず，二つ目の「ば」は“如果”が，48は“～一つ目は“要是～的话”，二つ目は“要是”が，49は一つ目は“倘若”，二つ目は“要是～就～”が，50は一つ目は“若”，二つ目は“如果～的话，则～”が用いられている。

51. 「日記を見れば，直ぐ分るわ」（雪33）

52. “一看日记立刻就晓得了。”（雪①24）

53. “只要翻翻日记就知道了。”(雪②52)
 54. “一看日记就知道了呗。”(雪③196)
 55. “一看日记就知道了。”(雪④25)
 56. “一看日记就知道了,”(雪⑤30)

52, 54, 55, 56は“一～就～”を, 53では“只要～就～”を用いている。前件が仮定的事態を表すとはいっても, それほど強い仮定を表すわけではないので, こうした訳になっている。

57. 「顔を赤くしたり, ばたばた追っかけて来たりすれば, なお困るじゃないか」(雪42)
 58. “面孔通红又吧哒吧哒地跟着跑来, 不更叫人难为情吗?”(雪①31)
 59. “你这样红着脸, 嘎达嘎达地追上来, 不是更难为情吗?”(雪②59)
 60. “你红着脸, 吧嗒吧嗒地跑着追上来, 岂不更叫我尴尬吗?”(雪③203)
 61. “一会儿脸红, 一会儿又叭哒叭哒追上来, 岂不是更窘吗?”(雪④32)
 62. “妳羞紅了臉, 這樣一逕趕了過來, 不是更難為情嗎?”(雪⑤40)

58～62はすべて関連詞を用いていない。

次に, 《骆驼祥子》はどうなっているのかを見てみよう。

63. 有好几个牲口呢。两个呢, 就收在(祥①)

64. 上客がいたら一人か二人なら引いてみるのもよし, いなければさっさとひきあげよう。(祥①19)

63は“～呢, 就～”を用いている。

65. 他们要是不放弃这几个牲口呢, 他也跟着完事;(祥①33)
 66. やつらが駱駝たちをすてなければ, おれも一卷のおわりだ。(祥①

69. 手術をすれば助かるでしょう。
70. 如果手术的话就能得救吧。(621)
71. 田中さんが行かなければ、私も行かない。
72. 如果田中不去的话,我也不去。(622)
73. やりたくなければやるな。
74. 你不愿意干就别干了。(623)
75. 明日, 天气がよければ海に行きませんか。
76. 如果明天天气好的话, 去不去海边? (623)

68, 72, 76は“如果～的话”70は“如果～的话就～”, 74は“就”が用いられている。

以上, 前件が仮定的事態を表す用法を見てきたが, “要是～就～”, “如果～就～”, “如果”, “要是”, “～的话”, “要是～的话”, “如果～的话”, “倘若”等, 假定条件を表す関連詞が用いられることが多い。67のように, 「もし」が入った文章は, 假定条件の意味合いが強く, 假定条件を表す関連詞が用いられる。

2-3 反事实的条件の用法

反事实的条件の用法とは, 益岡(2002)によると, 事実と反する仮定を表す用法のことであり, 前件の述語は動的なものも用いられないことはないが, 状態性のものである場合が多く, 後件の述語は「～た」という形式を取る人が多い。⁷⁾

77. 「あれば迷うことないじゃないの。」(雪53)
78. “如果有了的话, 还有什么拿不定主意的呢。”(雪①40)
79. “要是是有, 就用不着为难了。”(雪②53)
80. “要有还会拿不定主意?”(雪③211)
81. “要是有点什么, 何至于这么拿不定主意。”(雪④41)
82. “若是這樣, 豈不就不迷惘了嗎?”(雪⑤52)

7) 78は“如果～的话”70は“要是～就～”80は“要是”81は“要是”

82は“若是”が用いられている。

83. 「君を軽蔑していなければ、言いにくいさ。」(雪55)
84. “我很尊重你,所以难于开口。”(雪①42-11)
85. “除非是瞧不起你,不然就很难开口。”(雪②70)
86. “要不是瞧不起你,就不好跟你说呀。”(雪③213)
87. “除非瞧不起你,不然就说不出口。”(雪④43)
88. “除非是瞧不起你,要不然就是难开口的事。”(雪⑤54)

84は意識している。85は“除非～不然就”, 86は“要～就”, 87は“除非～不然就”, 88は“除非～要不然”が用いられている。

89. 「しようとおもえば, 四年の年期が二年になるんだけど, 無理をしないの。」(雪88)
90. “想干的话, 四年的限期, 两年也干得完, 可是为了保重身体, 就不勉强去做。”(雪①68)
91. “要是我愿意, 可以把四年期限缩成两年, 可我不想勉强去做, 还是

身子要紧。”(雪②95)

92. “只要我想做, 四年的合同就能就成两年, 可是我不想拼命, ~”(雪③237)

93. “只要我愿意, 可以把四年期限缩成两年, 可我不想勉强去做, 还是

100. “勉強去做，香錢也許能掙得很多。”（雪⑤89）

96は“如果～就～”，97は“了”，98は“如果～的话”，99は“要是”が用いられている。100は何も関連詞が用いられていないが，ここは仮定の意味が強いので，やはり96～99のように，関連詞を用いた方がよいと思われる。

的飞跑。(祥60)

102. 曹先生も涼しい風のなかでうとうとしていたらしい。さもなければ，祥子にこんなにとばさせはしなかつたろう。(祥①107)

101は“要不然”を用いている。

反事実的条件を表すものの場合も，仮定の意味が強いので，“如果～就～”，“要是～就～”，“要是”，“如果～的话”，“若是”，“～的话”，“除非～不然就～”，“只要～就～”等の仮定条件を表す関連詞が用いられる。

徐一平（2001）でも，

103. 宿題がなければ夏休みはもっと楽しいのに。

事実的用法について、益岡（2002）は、前件、後件が個別的事態を表す場合と、既然の反復の事態を表す場合をあげている。

109. 「そら、僕が言い出せば、話をそらすじゃないか。」（雪55）

110. “你看我一提出来，你不就把话扯开了吗？”（雪①42）

111. “瞧你，我一说，你就把话儿岔开了。”（雪②70）

112. “瞧，这不，我一提这个你就打岔么。”（雪③213）

113. “你看，我刚开口，你就打岔。”（雪④43）

114. “妳看，我一提起，妳就把話岔開了。”（雪⑤54）

110, 111, 112, 114は“一～就～”，113は“就”を用いている。

115. 「五年も続けば、上等の方じゃないか。」（雪。87）

116. “能够继续了五年，那算是很不错了。”（雪①68）

117. “能维持五年，总算是不错了。”（雪②94）

118. “能持续了五年，不是很好了吗？”（雪③237）

119. “既然相处了五年，那人也算是好的了。”（雪④68）

120. “能持續五年之久，不是很要好嗎？”（雪⑤89）

116～120は関連詞を用いておらず、意合法を用いている。

121. 裏へ出て見たれば

梨の樹が三本

杉の樹が三本

みんなで六本（雪117）

122. 到后面去一瞧

梨树有三棵

杉树有三棵（雪①21）

三棵梨树长得大

还有杉树也三棵 (雪③258)

125. 来到房后瞧一瞧，

梨树有三株，

杉树有三株，(雪④90)

梨樹有三株

杉樹有三株 (雪⑤120)

122~126は関連詞を使っておらず、意合法を用いている。

127. 驹子に言われてみれば、十分に心疚しいものがあつた。(雪126)

128. 想到驹子的说话,他心中十分感到内疚。(雪①97)

129. 让驹子这么一[●]说,有许多事情他是问心有愧的。(雪②122)

130. 被驹子这么一[●]说,心里确实感到了内疚。(雪③264)

131. 听驹子这么一[●]说,心里十分内疚。(雪④97)

132. 被驹子这么一[●]说,他的确感到十分歉疚。(雪⑤130)

ご主人がおだやかとなれば、いかな様子といえども、金、金とばかりは言っていられなかった。(祥①102)

137は関連詞は使われておらず、意合法である。

139. 有这点钱, 祥子什么也不怕。(祥91)

この金はすでにあるのである。139は関連詞は使われておらず、意合法である。

141. 他进了小胡同, 还跟着! 出了胡同, 还跟着! (祥94)

142. 横町にはいれば, 相手もつづいてくる。でると, 相手もでる。(祥①168)

詞は用いられず，“一”や“以后”が用いられる。

3. おわりに

条件を表す「ば」がどのように訳されるか見てきた結果、以上のことがわかった。1. 時間を超えて成り立つ一般的な因果関係を表す用法の場合は，“只要～就～”，“一～就～”を用いたり，関連詞なしの意合法で訳されており，仮定条件を表す“如果～就～”，“要是～就～”，“假若～就～”等の関連詞は用いられない。2-1. 前件が実現が見込まれる事態を表す用法の場合も，“就”が用いられたり，意合法で訳されたりして

り。仮定条件を表す“如果～就～”“要是～就～”“假若～就～”等の関

連詞は用いられず，“一”や“以后”が用いられる。

新出の仮定条件を表す「ば」は “要是 就”

” “如果 就” “要是” “要是” “要是” “要是” “要是” “要是” “要是”

	話”，“除非～不然就～”，“只要～就～”等
3. 事実的用法の「ば」	“一”，“以后”

仮定条件の弱いものは、関連詞を用いずに意合法で訳し、仮定条件が強くなるにしたがって、“一”，“一～就～”等で訳し、更に強くなると，“要是”，“如果”，“若是”，“～的话”，“倘若”，“要不是”，“如果～就～”，“要是～就～”，“如果～的话就～”等、仮定条件を表す関連詞を用いて訳されるのである。

一応、以上のようにまとめられるが、先にも指摘したように、例文7. 「ちょっと悪い評判が立てば、狭い土地はおしまいね。」(雪108)を訳す場合、11. “要是名声一有不好, 在这种小地方就算完了。”(雪④84)のように訳すのは、全くの誤訳とは言えないが、それほど仮定の意味は強くないので、ここはやはり、仮定条件を表す“要是”を用いない方がいい。また、51. 「日記を見れば、直ぐ分るわ」(雪33)は、前件が仮定的事態を表す用法ではあるが、それほど強い仮定を表すわけではないので、55. “一看日记就知道了。”(雪④25)のような訳になっている。95. 「無理すれば、ずいぶん線香が出るだろうな。」(雪88)は、仮定の意味が強いので、96. “如果硬着干, 线香钱就要多多啦。”(雪①68)のように、仮定条件を表す関連詞を用いた方がいい。このように、仮定の条件の強さに注意した翻訳を心がけることが肝要であり、それに注意しないと、誤訳とは言えないが、原文の持つニュアンスが伝わりにくくなる。

注

- 1) 益岡 (2002) pp. 73～78
- 2) 益岡 (2002) p74
- 3) 徐一平他 (2001)。傍点筆者。以下同じ。

- 4) 益岡 (2002) pp. 74~75
- 5) 小川 (2001) pp. 16~17
- 6) 益岡 (2002) pp. 74~77
- 7) 益岡 (2002) p77
- 8) 益岡 (2002) pp. 77~78

例文出典と略語

1. 雪:『雪国』 川端康成 1987年 新潮文庫
2. 雪①:《雪国》 川端康成著 侍桁译 1981年 上海译文出版社
3. 雪②:《雪国》 川端康成著 叶渭渠译 1998年 外国文学出版社
4. 雪③:《雪国》 川端康成著 尚永清译 1997年 商务印书馆
5. 雪④:《雪国》 川端康成著 高慧勤译 1985年 漓江出版社

7. 祥:《骆驼祥子》 老舍著 1997年 人民文学出版社

8. 祥①:『駱駝の祥子』老舍著 立間祥介訳 1980年 岩波書店

- 1 0. 前田直子 (1995) 「バ、ト、ナラ、タラー仮定条件を表す形式一」『日本語類義表現の文法 (下)』くろしお出版
- 1 1. 大河内康憲 (1967) 「複句における分句の接続関係」『中国語学』176
- 1 2. 大河内康憲 (1986) 「中国語の文と句の接続」『日本語学』1986. 10
- 1 3. 小川泰生 (2001) 「日本語と中国語の接続表現一条件を表す『たら』一」『中国語学研究論集』第8号
- 1 4. グループ・ジャマシイ (2001) 『日本語文型辞典』くろしお出版
- 1 5. 徐一平他 (2001) 《中文版日语句型辞典》くろしお出版
- 1 6. 吕叔湘 (1980) 《现代汉语八百词》商务印书馆
- 1 7. 刘月华等 (1983) 《实用现代汉语语法》外语教育与研究出版社
- 1 8. 范晓 (1998) 《汉语的句子类型》书海出版社
- 1 9. 邢福义 (1985) 《复句与关系词语》黑龙江人民出版社
- 2 0. 赵恩芳 唐雪凝 (1998) 《现代汉语复句研究》山东教育出版社
- 2 1. 黄成稳 (1990) 《复句》人民教育出版社

